

【(1) 学習のルール

- ①ー1「発表するときの姿勢や態度を文字や絵で示している」
- ①ー3「発言の仕方を文字で示している」

【(2) 教室環境】

- ⑤「学習のルールを掲示している」

《つまずきの背景》

C 記憶力の弱さ、L セルフモニタリングの困難さ、M 自己コントロールの困難さ

《解説》

発表するときの姿勢や態度についてのルールを学級や学校全体で決めることで、子どもはどのように行動すればよいか分かりやすくなり、教師も一貫した指導をすることができます。また、学習のルールを掲示することで、いつでも確認することができます。

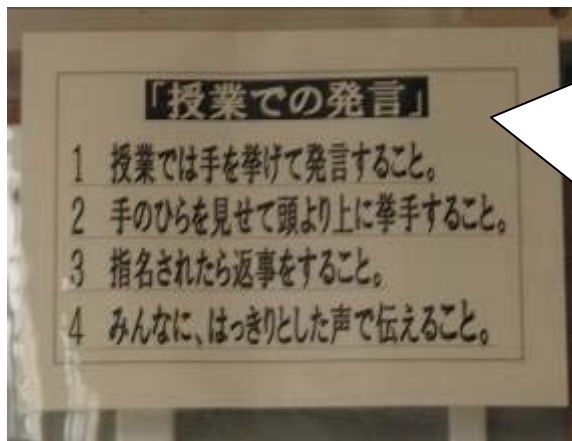
学級の中には、発表するときの姿勢や態度が分からなかったり、衝動的な行動を取ってしまい、手を挙げずに答えて注意を受けたりする子どもがいる場合があります。その子どもたちにとっても、学習のルールを決め、目で見えて確認できるようにすることで、ルールが守りやすくなります。

発表するときの姿勢や態度、発言の仕方などを、教室の前面等に掲示したり、プリントを配付したりしておくことで、視覚的に確認することができ、正しい姿勢や態度を守ろうとする意識付けになります。

【工夫点】

- ・発表するときの流れを教室の前面に掲示する。(小中 工夫例1)
- ・発言の仕方を教室の前に掲示する。(小中 工夫例2)
- ・発言の仕方についてプリントを配付し、見ながら発言できるようにする。(小)
- ・発表するときの注意事項を合言葉で示す。(小)

◆工夫例1「発表するときの流れを教室の前面に掲示する」



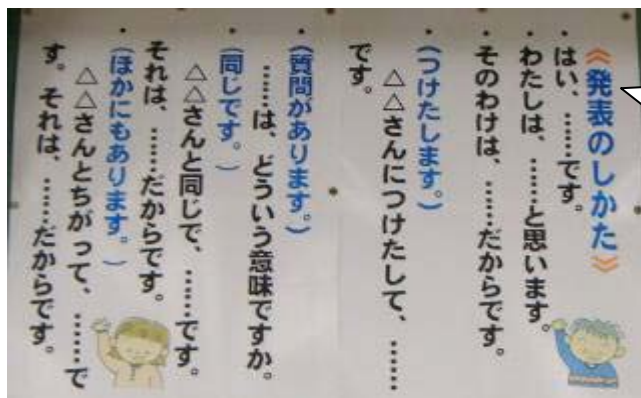
《中学校》

発表するときの流れについて、委員会活動においてルールを決め、学校全体で守るようにします。

全教室の前面に掲示し、いつでも確認できるようにします。

教師がルールを指差し、子ども自身が気付くように促します。そうすることで、子ども同士が注意し合うことにつながり、ルールを守ろうとする意識が高まってきます。

◆工夫例2「発言の仕方を教室の前に掲示する」



《小学校》

発表をするときの発言の仕方を教室の前面に掲示します。

子どもは掲示を見ながら発表できるので、安心して発言できます。